

- 会議名 令和6年度 第1回八雲町社会教育委員会議
- 日時 令和6年6月5日(水) 午後6時30分～8時00分
- 場所 八雲町公民館 第1・2集会室
- 出席委員 12名
間瀬龍生、林聖、吉田久子、小林元彦、小出政彦、河西大眞、前川伸也、
小西雄一、掛村敦子、小野礼子、寺田裕、長谷部修
- 説明員 教育長、社会教育課長、社会教育課長補佐、文化財係長、社会教育係主任、
熊石教育事務所教育推進係長

*傍聴者なし

《会議録要旨》

1 開 会 社会教育課長

2 あいさつ 八雲町教育委員会 教育長 土井 寿彦
八雲町社会教育委員 委員長 小林 元彦

3 委員紹介

4 議 題

- (1) 令和5年度 八雲町社会教育課・熊石教育事務所所管事業実施報告並びに事業
決算の概要について

○説明員より説明。

◆質 疑 特になし

- (2) 令和5年度 八雲町社会教育委員各部会等活動報告について

○説明員より説明。

◆質 疑 特になし

(3) 令和6年度 八雲町社会教育課・熊石教育事務所所管事業計画について

○説明員より説明。

委員～「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展」について、過去の実績を見ても感想簿への記名がとても少ないが、実際にはもっと見ている人はいらと思う。記名が少ないのはなぜか。やり方の問題なのか。

また、これも昨年度の実績にあるが、「幼児教育講演会」と「家庭教育支援講座」について、シルバープラザにて実施しているが、この事業については保健福祉課所管の母子事業との関わりはあるのか。

説明員～「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展」については、本当に記名が少ないが、実際に見ている人はもっといられる。なぜ記名が少ないのかというところまでは分析はしていない。

委員～昔は、ポスターの展示と合わせて短い時間の映画というか動画を流していた。お金はかかるのかもしれないが、もう少し見てもらえるような工夫や、もっとPRをしてほしい。

説明員～実施方法や内容については今後検討していきたい。

また、「幼児教育講演会」と「家庭教育支援講座」の母子事業との関わりについては、実際のところ子育てサークルを通して参加者の募集はしているが、その程度の関わりではある。今回、シルバープラザを会場としたのは、内容が調理実習という事で、調理室の広さや調理台の大きさが公民館では手狭であったので、シルバープラザの調理室を使わせていただいたところであります。

委員～今回の資料を見ても、事業計画がとても多い。計画するのも大変だと思うが、楽しそうなプログラムも多くあるのでとてもいいと思う。

昨年、自分も公民館講座の八雲学を受講したが、とても面白いと感じた。八雲は国や道の出先機関などの官公庁が多く、自分もそうだったが転勤族も多いので、もっとこのような地域を学ぶようなプログラムがあればいいと思う。

また、前回の会議でも話したがもっと若者向けのプログラムがあればいいと思う。30代から40代の人に興味を持つようなものがあればいいと思う。何がいいのかというのはあるが、例えばネイルアートやサウナを学ぶなどはどうだろうか。

説明員～貴重なご意見ありがとうございます。

ご意見にありましたように、八雲ならではのプログラムをもっと検討していきたいと思います。

若い世代向けということで、ネイルアートというのも面白いと思う。現在、そのような世代向けのプログラムとしては、YOU・遊・クラスを実施している。ただ、実際にやっていく中で、若者の中には、集まってみんなで何かをやっていくという事にハードルを感じている人もいると思うので、もっと個人でも参加できるようなプログラムを検討していきたい。

委員～計画する自分自身が参加したい、楽しいと思うような事をやっていけばいいのではないかと思う。

委員～資料 14 ページにある令和 6 年度の事業計画案について、盛りだくさんの事業があり、とてもいいと思う。さきほど説明でもありましたが、パソコン講座についても一定程度の需要があるというのが分かった。ただ、IT 町民サポートセンターについては、昨年度の実績を見ても 24 回の開設に対して利用者が 16 名ということで、開設しても誰も利用しない日というものもあると思う。また、利用者の多くは 50 代から 60 代という事であったが、今の現状からして町が実施していかなければならない事業であるのか。民間に任せてもいいのではないかと思う。

説明員～平成 12 年度より公民館講座にてパソコン講座を実施しているが、講座だけではサポートしきれない部分を、サポートセンターが担ってきたという経緯がある。

前までは、月 2 回の実施をそれぞれ 2 時間開設という事でやってきていたが、実際の実績等をもとに回数や開設時間を見直そうという事で、今は開設回数は変わらないが開設時間を 2 時間から 1 時間に短縮して実施しているところである。人数としては少ないが、実際に利用者がいるという事で実施しているところである。コロナ禍もあり、パソコン講座はパソコン利用等の需要もあり受講者はあまり減らなかったが、サポートセンターは実績はかなり減ったところである。今後、実施方法等についても見直していかなければならないと考えている。

委員～現時点では見直さないという事か。

説明員～令和 7 年度予算に向けて検討していきたいと思います。

委員～令和 6 年度が木彫り熊発祥 100 周年という事で、木彫り熊をアピールしていくことはとてもいいと思う。ただ、八雲町にはまだ貴重な物があると思う。それは坂本直行の絵である。もっとちゃんと展示等を行い、表に出して行ってはどうかと思う。総合病院が所蔵しているという事で、

総合病院内に展示しているのはわかるが、もっと全町的にアピールして
いってもいいのではないか。

説明員～総合病院が所蔵している物ではあるので、今ここで明確に回答はできな
いが、貴重なご意見として伺っておきます。

(4) 令和6年度 八雲町社会教育委員各部会等活動計画について

○**説明員**より説明。

委員～団体育成部会の開催日程を今日の会議終了後に協議したいと思うので、
団体育成部員は会議終了後、少し残っていただければと思います。

(5) その他

説明員～現在、第3次男女共同参画プランの策定に向けて策定作業を進めている
ところであります。このプランについては、10年毎に改訂しており、平
成17年に第1次プランを策定してから、平成27年に第2次プラン、そ
してその第2次プランが令和6年度で終了となることから、第3次プ
ランの策定に向けて策定委員を18名任命し、その中には一般公募も1名あ
りました。

今後のスケジュールにつきましては、6月17日から1か月間、策定に係
る町民アンケートを実施する予定であり、町の広報6月号にもアンケ
ート回答フォームのQRコードを掲載しているところであります。

アンケートの結果を踏まえて策定委員会にてアンケートの原案を策定、
パブリックコメントを実施した上で来年3月までに策定したいと考えて
いるところであります。

次に、新庁舎建設事業の進捗状況について、先日、町民説明会を実施し
たところでありますが、現在、実施設計を進めているところであり、皆
様からお伺いしたご意見も踏まえ、検討していきたいと思えます。

今年度、実施設計を行い、令和7年度から8年度にかけて建設工事、令
和9年度に新庁舎へ引っ越しを行う予定であります。今後の進捗状況
についても状況に応じて説明していきたいと考えておりますので、よろ
しくお願いいたします。

説明員～部会の構成に関してですが、3月に開催した社会教育委員会議でもお知
らせしたように、学校の人事異動等の関係で委員の一部に入れ替えがご
ざいまして、本日、机上配付させていただきました「参考資料」の
社会教育委員名簿のとおりとしたいと考えておりますので、よろしくお

願います。

また、本年度も「八雲の教育」を作成いたしましたので、机上に配布させていただきますいております。本書は、八雲町教育委員会の各課所管事業および関係資料をまとめたものとなっておりますので、ぜひご一読いただければと思います。社会教育課関係につきましては、先ほど説明しました各種事業の概要、社会教育関係団体の名簿、社会教育施設の利用状況などを記載しております。参考としまして、今年度の事業チラシを配布しています。

もう1点、配付させていただきました書類『社教連会報』につきましては、発行元より社会教育委員あてに配付依頼がありましたので、お持ち帰りいただき、ご覧いただければと思います。

5 閉 会